

安全データシート

1 化学品および会社情報

製品名
会社名
住所
担当者
電話
FAX

RZ-209 ハンダ用フラックス
新富士バーナー株式会社
愛知県豊川市御津町御幸浜一号地1-3
資材部 木邨 昌司
0533-75-5000
0533-75-5033

2 危険有害性の要約 有害性情報

危険性： 消防法危険物 第4類第3石油類(水溶性)
皮膚腐食性： 皮膚組織を腐食する。

刺激性： 眼、皮膚、粘膜を刺激する。

急性毒性： 知見なし

分解性： 易生分解性あり

蓄積性： 殆どなし

ラベル要素 絵表示

注意喚起語 危険

環境影響



3 組成および成分情報

化学名	含有量	グリセリン	臭化水素酸
	88%		12%
CAS-No	56-81-5		10035-10-6

臭化水素酸単体のSDS
は別紙の通り

4 応急措置

目に入った場合： 直ちに清水で15分以上水洗し専門医の診断を受ける
皮膚に付着した場合： 石鹼で十分洗浄し、必要に応じ専門医の診断を受ける
吸入した場合： 鼻をかんで、うがいを
飲み込んだ場合： 水でよく口の中を洗い、吐かせる

5 火災時の措置

消火方法： 初期の火災には水の噴霧、炭酸ガス、ドライケミカルなどの
消火器を用いる。大規模火災の際には泡消火剤などで空気を
遮断することが有効である。燃焼すると炭素酸化物が発生する。
元来フラックスは火気と共存するものですから、作業現場には
消火剤及び保護具を備えてください。

6 漏出時の措置

付近の着火源を取り除き、風下の人を待避させる。
露出液を密閉容器に集め、残留液を砂または不活性吸収剤に吸収させて
安全な場所に移す。
決して露出液を下水や側溝等に流してはならない。
[少量漏れた場合]布で拭き取るか、土砂をかけて染み込ませるか、
捕集剤を使用して回収する。
[多量に漏れた場合]土砂で流れを止め、安全な場所に導いて回収する。
回収作業の際には必ず保護具を着用し、風上から作業する。

7 取扱いおよび保管上の注意

取扱い：換気の良い場所で行う。可能であれば保護具（手袋、マスク）を着用する
作業終了後は速やかに洗面、うがい等を行いフラックスを洗い流す
保管：冷暗所に密封保管し高温物を近づけない

8 ばく露防止および保護措置

管理濃度：－
許容濃度：10mg/m³（グリセリンミストとして）
設備対策：排気設備のある所で、換気をしながら取り扱う
保護具：保護眼鏡：ゴーグル型眼鏡等
保護手袋：ゴム手袋等
保護衣：着用
その他：防塵マスク

9 物理的および化学的性質

形態：無色または淡褐色の液体
沸点：290℃
比重：1.25
溶解度：水20℃ ∞
引火点：345℃ 発火点：429℃ 引火性液体
発火性：自然発火性、水との反応性なし
酸化性：なし

10 安定性および反応性

自己反応性及び爆発性：特になし
安定性、反応性：通常の状態では安定である。

11 有害性情報

皮膚腐食性：皮膚組織を腐食する
刺激性（皮膚、目）：眼、皮膚、粘膜を刺激する。
急性毒性：知見なし

12 環境影響情報

分解性：易生分解性あり
蓄積性：殆どなし

13 廃棄上の注意

取扱い及び保管上の注意の項の記載による他、
引火性液体に関する一般的注意事項による。
低濃度排水は活性汚泥等で処理してください。

14 輸送上の注意

陸上輸送：4キリットル以上は消防法危険物に該当
海上及び航空輸送：非危険物
その他：引火性液体「火気厳禁」

15 適用法令

消防法危険物：第4類第3石油類（指定数量4千リットル）
毒劇物法：該当せず
安全衛生法：知見なし

16 その他の情報

調査文献：食品添加物公定書解説
注意：危険、有害性の評価は必ずしも十分でないので、取り扱いには十分注意願います。この情報は新しい知見または試験などにより改定される事があります。